

## 横浜市とレジル株式会社が 集合住宅再生可能エネルギー電気導入促進に向けた連携協定を締結します

横浜市は、2030年度の温室効果ガス排出量50%削減、2050年カーボンニュートラル達成に向けて、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入を推進しています。この度、集合住宅における再エネ電気導入の促進を図るために、レジル株式会社と「横浜市内の集合住宅再生可能エネルギー電気導入促進に向けた連携協定」を締結しました。



### 1 経緯

横浜市は、2030年度の温室効果ガス排出量50%削減、2050年カーボンニュートラル達成に向けた取組の一つとして、市民・事業者向けの再エネの導入を推進しています。特に、CO2排出量が最も多い家庭部門の排出量削減は重要であり、再エネ電気の導入はCO2排出量削減につながる効果的な取組の一つです。

このたび、テーマ型共創フロント※を通じて、レジル株式会社から高圧一括受電サービスを活用した集合住宅の再エネ電気導入に関する提案をいただき、連携協定を締結することとなりました。

※ 行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、横浜市が設置した相談・提案受付窓口

### 2 主な協定内容

- (1) 集合住宅における再エネ電気の導入に関すること
- (2) 集合住宅における再エネ電気の普及に資する活動に関すること
- (3) 太陽光発電や蓄電池等、集合住宅における一体的な再エネの導入促進に関すること

#### 明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

#### 横浜市

- 関係機関との調整・協議の協力
- 再エネ電気の普及啓発

#### 公民連携



#### REZIL

- 集合住宅における高圧一括受電の導入に向けた課題抽出および導入ポテンシャル調査
- 高圧一括受電及び再エネ電気の普及に資する広報活動
- 太陽光発電や蓄電池導入によるレジリエンス強化の促進

裏面あり

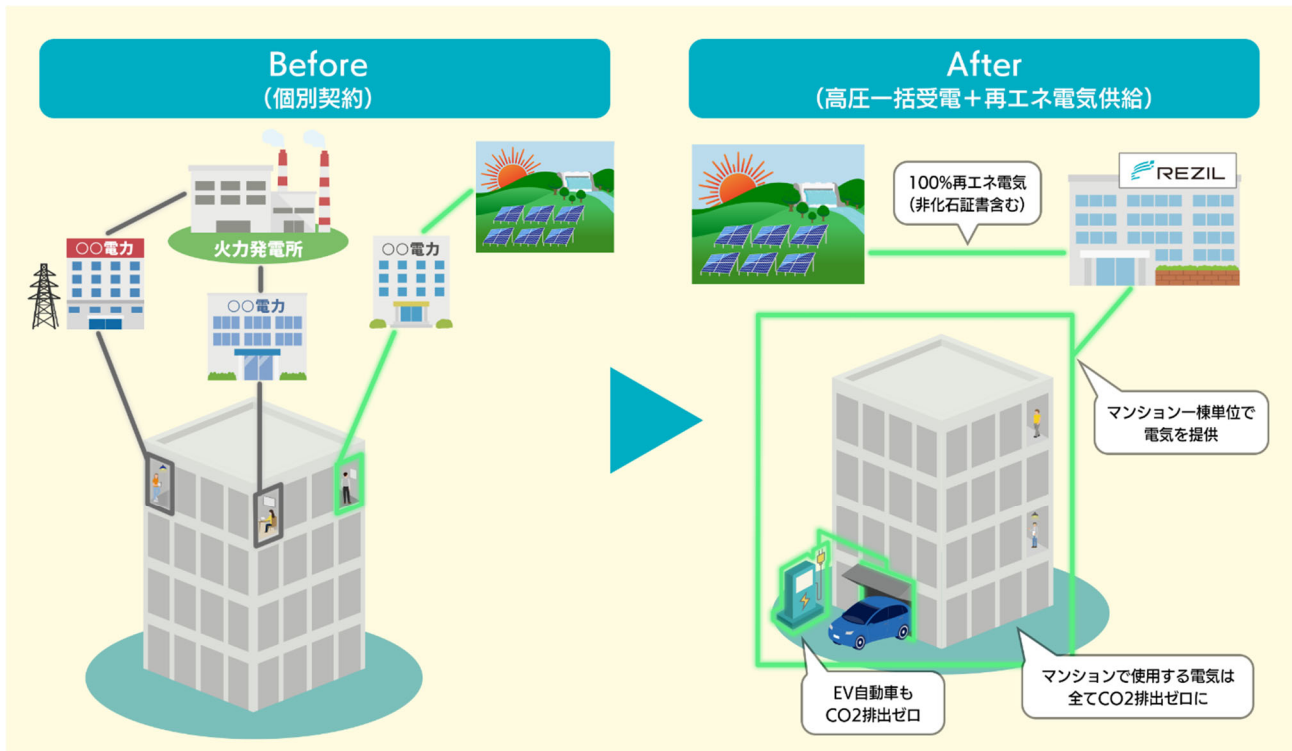


GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



## 【高圧一括受電※サービスを活用した集合住宅の再エネ電気導入のイメージ】



出典：レジル株式会社

※高圧一括受電とは、集合住宅の各戸が電力会社と結んでいる個別契約（低圧）に対し、事業者が集合住宅内に受変電設備を設置し、集合住宅1棟分の電気を一括契約（高圧）し、低圧に変換して各戸へ供給する仕組みです。加えて、100%再エネ電気（非化石証書を活用した実質再エネを含む）を提供することで、集合住宅で使用する電気は全てCO2排出量実質ゼロとなります。

## 【参考】レジル株式会社について

レジル株式会社（東京都千代田区）は、2004年に事業化したマンション一括受電サービスによるコスト削減を通じて、マンションの修繕積立金不足という社会課題の解決に貢献してきました。現在は「結末点として、社会課題に抗い続ける」をパーパスとして掲げています。社会課題の解決という志を同じくする人々の結末点となり、協力しつ一つ丸となって社会課題を解決する企業となることを目指し、分散型エネルギー事業、グリーンエネルギー事業、エネルギーDX事業、脱炭素ソリューション事業の4事業を展開しています。

### お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 脱炭素ライフスタイル推進課長  
レジル株式会社 広報チーム

雨堤 久美 Tel 045-671-2477  
新開（しんかい）、星 Tel 03-6846-0908  
MAIL koho@rezil.co.jp



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

